

学校関係者評価報告書

I 重点目標について

| |
|---|
| 令和5年度重点目標 |
| 本校の教育目標の達成を実践するべく、教員の人間力・技術力・授業力などを把握、ブラッシュアップして業界に求められる人材を教育、育成する。また、より良い教育環境をつくり、より多くの学生が自己の目標を達成出来るよう学級運営を充実させ、在校生全員の満足度の向上を目指す。学生が安心して学べる学級環境をつくり、人間関係等のトラブルによる退学者が出ないようにする。また職員間の『報告・連絡・相談』を意識的に、より確実に出来るよう強化する。 |
| 達成計画・取組方法 |
| <ol style="list-style-type: none">1 技術の勉強会や、授業研究などを用い向上を図る。2 授業評価制度や専門技術の確認システムを有効に推進する。3 最新の業界に関する情報を教職員で共有し学生へと伝える。4 ホームページに加え、インスタグラム等 SNS で活動内容を公開していく。5 ハイパーQU を導入し、学生一人一人の心理状態を把握する。6 良い人間関係を活性化させる構成的グループエンカウンターの実用方法を教員研修で全ての教員が習得できるようにする。7 昨年度より在校生全員を対象にピアヘルパーの資格取得を目指し、教員全員が資格を取得したが臨んだ結果が得られなかった。反省を活かし対策を講じる。8 全教室に設置されているスマート V ボードの特性を十分に活かし、よりわかり易く効果的な授業を運営していく。9 若手教員が確認しやすい環境づくりが大切になるので、先輩教員たちは積極的にコミュニケーションをとっていく。 い。 |
| 学校関係者評価 |
| 学生満足度向上のための様々な取組みは評価できる。教育活動と学生支援に力を入れ学生の技術的なレベルアップを進めていくと同時に、社会に出ても役に立つ人間関係力を高める教育プログラムの一環として資格取得を目指すことは評価できる。引き続きソフト面で選ばれる学校となるための更なる取組みを期待する。また、IT ツールを駆使して分かり易い授業ができることは、強みと考える。若手職員の支援は、職場の成長において重要である。 引き続き、更なる向上につとめていくよう希望する。 |

II 各評価項目について

基準1 教育理念・目的・育成人材像

| 自己評価 | 学校関係者評価 | 改善方策 |
|---|------------------------------------|---|
| <p>本校の理念・目的・育成人材像については、わかりやすく、具体的に示しており、学生・教職員にもよく周知徹底されている。学外への公表は、主に学校案内パンフレット・ホームページで行っているが、大変好評であり、今後もコンテンツの充実を図っていく。</p> <p>『礼儀・責任・融和』を身につけられる環境づくりを続けていく。</p> | <p>適切に対応している。今後も更なる向上に努めて頂きたい。</p> | <p>業界が求める人材像、時代に合った人材像をキャッチし、カリキュラムの見直し、実現性を的確に行っていく。</p> <p>また、必要に応じて教員の技術は勿論、業界の現状の知識のレベルアップを計っていく。</p> <p>教職員が『礼儀・責任・融和』を念頭に学校生活をサポートする。</p> <p>授業公開やワセビ祭など、保護者が参加できるイベントなどを行うと共に、情報は SNS 等でも周知していく。</p> |

基準2 学校運営

| 自己評価 | 学校関係者評価 | 改善方策 |
|---|---|--|
| <p>運営組織図は明確に定められている。意思決定機能は、幹部会が掌握しており効率的に意思決定がなされている。</p> <p>教務に関する業務効率化を図る情報システム化は整備されている。また、教職員の業務効率化のため、ほぼ1人1台のパソコンが配置されている。</p> <p>学生募集に関するデータは管理されており、業務効率化は改善されてきている。</p> <p>学校の情報提供については、ホームページや SNS を通じて充実させてきている。教育理念や法人概要、シラバス等はホームページでも掲載している。</p> <p>WiFi 等のネット環境を構築し、学生向けに電子ボード（スマート V ボード）設置し有効な IT ツールを活用した授業を展開している。</p> | <p>概ね適切に対応できている。時代の流れに遅れを取らぬよう、あらゆる面で整備を進めていく必要がある。</p> | <p>学校現場における現代の IT 化に対応した学校運営が可能となるよう、校内システム等インフラ整備を進めていく。</p> <p>校内業務の IT 化も、職員の労務管理や費用の支払い等、より効率的な業務運用が可能となるよう導入を進めていく。</p> <p>校内の建築物や設備においては、設立から 25 年が経過しており、老朽化した設備や構築物は順次入れ替えや修復に力を注ぎ、安全で清潔な教育環境の維持を行っていく。</p> <p>教職員のスキルアップやキャリアアップを目的とした研修を取り入れている。校内における研修制度やスキルアップのプログラムを教育システムとして確立していく。</p> |

基準3 教育活動

| 自己評価 | 学校関係者評価 | 改善方策 |
|---|---|--|
| <p>国家試験課題と現場に望まれる技術とのバランスを考えて、カリキュラムを作成している。</p> <p>人材確保ができていないことが、美容界の現状である。シャンプー、カラーなどアシスタント時の業務に役立つようなカリキュラム作りを行い1日も早く技術者として活躍できるよう考えている。</p> <p>国家試験課題は、特に学科の苦戦が予想されるため11月1日の課題発表後より毎日6限目は学科対策の授業を行い、実技試験課題の技術向上と並行して知識の積み上げを行う。</p> <p>非常勤講師との連携およびコミュニケーションを密にすることで、国家試験対策を強化していく。</p> <p>キャリア教育を行う上で業界の特色と時代背景を反映したものでなくてはならないため、技術者としてだけでなく、社会人としての教育も必要である</p> | <p>適切な教育活動を維持している。国家試験合格率の向上に努めてほしいと共に、社会人としての教育にも力を入れてもらいたい。</p> | <p>学生の学力・技術レベルに応じた授業を教務会議で検討する。</p> <p>外部講師からも意見を上げてもらい、積極的に授業に組み入れて行く。</p> <p>模擬試験の結果を踏まえてフォロー講習対象者を確定する。</p> <p>キャリア教育としての業界の話や社会人としての常識・マナーの教育も進めていく。</p> <p>有名サロン LIPPS のヘアデザインフォトアワードにて25期の学生2名が優秀賞を受賞した。</p> |

基準4 学習成果

| 自己評価 | 学校関係者評価 | 改善方策 |
|---|---|---|
| <p>毎年の資格取得者数を比較検討し、資格試験対策を行っている。試験に対する意識の低い学生に対しては放課後のフォローを実施している。</p> <p>目標達成と生徒指導の充実を図るため、毎日全職員で朝礼・終礼を行い、学生の状況を報告し合い、必要に応じて早めの情報収集と教育相談等にあたり必要な指導を行っている。</p> <p>学生から上がってくる様々なイベント企画を企画書の作成から指導して実行まで導いている。これにより企画運営力のある人材育成を目指す</p> <p>なお、令和3年度の国家試験では、合格率100%を達成したが、その後の達成ができていない。</p> | <p>概ね適切に対応できている。学生に主体性もたらずことは良い効果をもたらす。今後も学生個々のモチベーション向上にプラスとなる取り組みに期待する。</p> <p>合格率100%を達成してから2年連続で未達成となっている。再度、国家試験合格率は100%を目標として頑張ってもらいたい。</p> | <p>指導方法と正答率との関連性を調査する同窓会や各学科教員の協力体制を強化し、常に新しい情報収集することを心がける。</p> <p>近年増加傾向にある業務委託契約と雇用契約との違いなど、働き方に関する教育が課題。</p> <p>実技対策に入ってからでも学科対策は並行して行う。</p> |

基準5 学生支援

| 自己評価 | 学校関係者評価 | 改善方策 |
|---|--------------------------------------|--|
| <p>就職支援に関する体制は整備されており、求人に関する最新情報の学生への伝達、説明会や面接の申し込み等の企業への連絡もスムーズに行われている。活動状況を就職課で把握している。</p> <p>学生相談に関しては担任、学年主任、部長等で連携を取りながら行っている。今後は留学生にも相談しやすい環境づくりをしていく。</p> <p>経済的な問題を抱える学生に対しては、奨学金の利用ができるよう取り計らっている。また希望者には分納にも応じている。</p> <p>学生の健康管理は学校として年1回の健康診断を行っている。ふだんより病気予防のための指導をクラスで行っている。</p> <p>地方からの入学者に対しては親身に住居の相談にのり、学生寮・アパート等の紹介を行っている。</p> <p>出席状況に問題が生じた学生に関してはいち早く保護者への報告を行い、状況によっては、保護者との面談も行っている。</p> <p>校友会の活動としては年に1回イベントの開催を行っている。(令和2年度については新型コロナウイルス感染症予防のため中止、令和3年度については規模、会場を縮小し開催、令和4年度は従来通り(一部規制あり)で開催、令和5年度からはほぼ従来通りの内容で開催)</p> | <p>概ね適切に対応している。今後も更なる向上に努めて頂きたい。</p> | <p>精神面に問題を抱えている学生が以前より増えている。保護者と連絡を取り合い情報の共有を心掛ける。</p> <p>学校生活に対する学生の満足感や充実感を上げ、安心して学校生活を送れるよう新たに『hyper-QU』(アンケート)を実施し、学生一人ひとりの傾向や問題点などを各担任が把握している。</p> <p>学校公式の SNS を学生にフォローさせて、災害時の伝達を配信している。</p> <p>全学生の保護者にもポータルサイトに登録してもらい、緊急時以外の連絡事項なども一括で送信できるシステムを導入した。</p> <p>新たに YouTube 部を発足し、動画撮影、編集、登校などの活動を行っている。</p> <p>新たにピアヘルパーの授業を取り入れ、教員、学生全員が資格取得を目指している。</p> <p>日本教育カウンセラー協会認定のスクールカウンセラーが常勤し、精神的なサポート体制を整えている。</p> |

基準6 教育環境

| 自己評価 | 学校関係者評価 | 改善方策 |
|--|--------------------------------------|---|
| <p>サロン実習や国内研修等、多くの研修を行える環境が整えられており、教育内容は充実している。</p> <p>サロン実習では、多くのサロン様に協力して頂き、サロンワークを学ぶことが出来る。就職試験に向けて重要な経験となっている。</p> <p>全クラスにスマートVボードを導入し、担任にはiPadを配布。板書の時間や説明を事前に資料や説明動画を作成することによって合理的かつ能率的に授業の進行が出来た。</p> <p>毎年防災についての映像を消防から借りて、全校生徒で情報を共有している。</p> <p>クラスの代表者が直接消防署に赴き、消火器の扱いの実習訓練も行っている。</p> <p>全校生徒の本校からの距離を把握し、距離に応じた行動計画を策定した。教室には災害マニュアル、ヘルメット、メガホン、笛を常備。</p> <p>学生に対して災害時に使用できる防災対策用品セットを配布している。</p> <p>フロア責任者を配備して、学生下校後の教室の状況、破損、戸締りについてチェックを行っている。</p> <p>定期的に学校周辺の見回りを行い、地域の安全やトラブル回避に努めている。</p> | <p>概ね適切に対応している。今後も更なる向上に努めて頂きたい。</p> | <p>授業を行う上で、更に良い教育環境を整備していく。</p> <p>スマートVボードをより有効活用するためにアプリの研究や編集テクニックの経験を積んで、授業だけでなくホームルームの伝達や学年ごとの共有ツールとしても活用していく。</p> <p>SNSで学生が発表できるように学校のInstagramでメンションを促し活発に動かしている。</p> <p>行事などの場面でもスマートVボードを活用し、地上デジタル放送による校内中継や、インターネットを使ったZOOM中継など時代に則した活用方法を見出していく。</p> <p>YouTubeクラブやフォトシューティングクラブの動きが活発で、学生達の発表の場が豊富に用意されている。また、本格的な機材に触れ就職した後にも活きる経験を積むことができる。</p> |

基準7 学生の募集と受入れ

| 自己評価 | 学校関係者評価 | 改善方策 |
|---|---|--|
| <p>高等学校への情報提供は、進学相談会への参加、また高等学校教員には個別訪問を積極的に行っている。学生募集に関しては、適切に行っており、学校案内やパンフレット・ホームページには特色を分かり易く標記している。また、体験入学や入試説明会を月2回以上行っている。</p> <p>入学選考基準は、規定で明確に定めている。選考や合否判定は適切に行っている。入学選考の実績に関しては、クラウドシステムで管理し、学力に応じた指導を入学後行っている。</p> <p>学生の能力及び経済力を考慮した学納金を算定している。徴収金額はすべて明示している。</p> <p>入学辞退者に対し、授業料等の返還は学則・募集要項で明示している。</p> <p>高等教育の修学支援新制度の認定対象校としての登録を受けている。(令和5年度)</p> | <p>適切に対応している。学生募集においても、ITを有効に活用することで、成果を上げて欲しい。</p> | <p>ホームページにInstagram、TikTok、YouTubeなどの導入を積極的に行っている。</p> <p>入学情報提供のInstagramを作成。フォローを密におこなう。</p> <p>体験入学予約時に希望する実習を選択するなど工夫をしている。</p> <p>入学選考において課題提出を選択制にするなど工夫している。</p> <p>志望者の状況を考慮し入学選考日を増やした。</p> |

基準8 財務

| 自己評価 | 学校関係者評価 | 改善方策 |
|---|------------------------------------|---|
| <p>財務基盤については、応募者数等の数字の把握は毎年行っており、収支のバランスはとれている。</p> <p>資金収支やコスト管理については部門ごとに月次で適切に行っている。</p> <p>教育目標との整合を図って予算編成を策定している。編成過程及び決定過程は明確になっている。</p> <p>予算執行にあたってのチェック体制は学園本部で行っており、適切な会計処理を行っている。</p> <p>監査は私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に実施し、理事会等で報告している。監査法人による監査を年2回実施している。</p> <p>財務情報については、ホームページで公開している。</p> | <p>適切に対応している。今後も更なる向上に努めて頂きたい。</p> | <p>財務基盤の安定を保ち、資金収支および事業活動収支も、プラスを維持しつつ、好調な学生募集と効果的な教育活動を実現できるような財務活動を引き続き押し進めていく。</p> |

基準9 法令等の順守

| 自己評価 | 学校関係者評価 | 改善方策 |
|---|------------------------------------|--|
| <p>関係法令等を遵守し、適切に学校運営を行っている。また、必要な諸規定を整備している。</p> <p>個人情報保護に関する規程や、情報機器使用についての規定は整備している。</p> <p>個人情報をはじめとする機密情報について、セキュリティの強化や、職員への啓発および教育を引き続き行っていく。</p> <p>自己点検・自己評価は組織的に、毎年度行っており、毎年度、自己点検評価報告書を作成し、学校関係者評価委員会を行い、その結果をホームページで公表している。</p> <p>学校の概要、教育方針、教育内容、学校行事等については、平成26年度よりホームページにて公開している。その他の公開情報についても、同様にwebで公開している。</p> | <p>適切に対応している。今後も更なる向上に努めて頂きたい。</p> | <p>社内における管理体制の強化や規定の作成等、更なる整備を進めていく。</p> <p>個人情報保護規定に基づく校内システムの構築を推進していく。</p> <p>情報の公開については、発信できる内容は、SNS等を活用して関係者へ有益な情報を発信していくとともに、一方で保護されるべき情報の管理についても、コンプライアンス体制を強化し対応していく。</p> <p>最近の社会情勢を鑑み、職員の就業規則の大幅な変更を行った。(令和6年3月)</p> |

基準10 社会貢献・地域貢献

| 自己評価 | 学校関係者評価 | 改善方策 |
|---|------------------------------------|--|
| <p>開校当時から社会貢献やボランティア活動に対して意識が高く、新宿区で毎月行われている「ポイ捨てキャンペーン」には、当初から欠かさず参加している。</p> <p>充実した施設・設備のチューデントサロンを通して地域の方にも積極的に開放することで、地域とのコミュニケーションも生まれ、社会貢献に繋がっている。</p> <p>教職員の声ばかりでなく学生自身からも提案があり、「エコキャップ活動」も行っている。</p> <p>高校の職場体験の機会を提供している。</p> <p>消防庁の火災予防運動に協力しており、感謝状を東京消防庁より授与されている。</p> | <p>適切に対応している。今後も更なる向上に努めて頂きたい。</p> | <p>都立松沢病院からボランティア活動に対して、感謝状を頂き、今後も患者様の療養生活の質の向上に努めていくが、本年度はコロナウイルスの影響で実施できない状況である。</p> <p>選挙権年齢が18歳以上となり、校内にポスターの掲示や政治セミナーを行い投票に行くよう各クラス促していく。</p> <p>各種ポスター掲示により、社会貢献活動に参加を促している。</p> |